

日本気象学会国際学術交流基金への募金のお願い

日本気象学会は、かねてから各国の気象関係組織および研究者との学術交流を図るため、国際学術交流基金をもうけて、学会もしくは会員の学術交流の援助を目的とした活動を致しております。実施にあたっては、外国で開催される国際学術研究集会への会員の出席の補助、国際学術交流に貢献する事業の援助などです。昨年は、少額ですが IAMAP への若手研究者の出席の援助を実施し、また、中国気象学会との交流などを致しました。

本来この基金は、少なくとも一千万円程度の元金があるが、その利息で活動費をまかなうことを目標としていますが、現在のところ、その過渡期として、学会自身の年間予算から毎年約百万円を積み立て、並行した、わず

かの一般事業費と篤志による個人寄付金で活動を行っております。

基金の基礎を固めるためには、是非、会員の皆様からの御寄付をお願いします。理事会としては、さらには大口の団体寄付を仰ぐべく努力致す所存です。国際学術交流基金の趣旨を御理解いただき、本誌挿入の振替用紙を御利用の上、一口千円として、なるべく多くの御寄付をお願いします。

なお、募金期限は昭和61年12月末日と致しますが、早い時期にお振り込みいただきますようお願いいたします。

昭和61年 8月

日本気象学会

日本気象学会国際学術交流基金寄付者御芳名（第2報）

昭和61年8月1日現在、下記の会員からご寄付がありましたので、お礼を兼ねて報告申し上げます。

なお、引き続き会員各位のご協力の程お願い申し上げます次第です。

記

仲里 正、青木 孝、花房龍男、股野宏志、立平良三、

山元龍三郎、竹内清秀、大江健夫、葦沢 浩、能登正之、増澤讓太郎、松本誠一、山岸米二郎、杉村行勇、新田 尚（入金順、敬称略）

以上 15名 合計口数 106口 106,000円

累計 36名 総口数 207口 207,000円

日本気象学会および関連学会行事予定

行 事 名	開 催 年 月 日	主 催 団 体 等	場 所
第3回アジア流体力学会議	昭和61年9月1日～5日	アジア流体力学会議委員会	日本都市センター
Beijing International Radiation Symposium	1986年9月2日～6日	Chinese Meteorological Society & American Meteorological Society	Beijing
第12回リモートセンシングシンポジウム	昭和61年10月27日～28日	計測自動制御学会	国立教育会館
昭和61年度日本気象学会秋季大会	昭和61年11月5日～7日	日本気象学会	愛知厚生年金会館（名古屋市）
第9回風工学シンポジウム	昭和61年12月4日～5日	日本気象学会他	気象庁
第9回極域気水圏シンポジウム	昭和61年12月11日～12日		国立極地研究所
International Union of Geodesy and Geophysics, XIX General Assembly	1987年8月9日～22日		カナダ、バンクーバー